

# 狭山が発祥の地

## 童句

### 第15回童句まつり・特選6句

第15回童句まつりて入選した26句のうち、特選6句を掲載します。

おたまじゃくし 群れて大きな 魚となる

佐藤桂子(狭山市)

寝ころべば すずきが空を 掃いている

阿久津凍河(青森県三沢市)

ありんこに ないよね 勤労感謝の日

脇坂ささ(狭山市)

駅に着き 汗のSL 深呼吸

栗原英也(群馬県碓氷郡)

組み体操 最後に夏空 持ち上げる

萩原亜季(群馬県伊勢崎市)

こんべいとつ 落ちてきそうな 天の川

羽田野 真(大阪府寝屋川市)

## AET CORNER



Edward Te Ua (入間川中学校勤務)

Well it is nearly time for me to return home to New Zealand. The time I have spent in Sayama has gone by very quickly indeed. I will miss among other things Japanese food, going to onsens and watching Sumo. On the other hand I will enjoy spending time with my family, getting to the beach in under 30 minutes and watching live rugby. I would like to take this opportunity to express my gratitude for the hospitality and kindness shown to me by the many Japanese people I have met during my time in Japan. They have made my time living as a New Zealander in Japan an enjoyable experience. I hope that some time in the future I will have the chance to help make the stay of Japanese who come to my country more rewarding.

いよいよ故郷ニュージーランドに帰るときになりました。狭山市で過ごした日々はあっという間に過ぎました。私は日本の食べ物、温泉、相撲など日本での出来事をなつかしく思うでしょう。また一方では、これから家族とともに過ごし、近くの海岸に行ったり、ラグビーを観戦できることを楽しみにもしています。滞在中に出会った多くのかたの温かいもてなしや親切に対して、この機会に感謝したいです。日本のかたは、ニュージーランド人である私の日本での生活を楽しい経験とさせてくれました。いつか日本のかたが私の国を訪れるときがあったら、ニュージーランドに来てよかったと感じられるようなもてなしができるようにしたいと考えています。(英文の要約)



池原 昭治の

## さやまの会本

74



## 逃水の話

むかしのお話です。

京の都より歌をよむ旅の僧が武蔵の国へやってきたときのことうです。ちょうど夏のさかりで、ここ何にちは雨も降らず、草原の武蔵野はカラカラでした。箱根ヶ崎から宮寺、水野へとやってきたときです。林の方にチラチラと水の流が見えました。「やれ助かったわい」と、急いで近づいてみますと水はありません、水は遠くで流れているでは

ありませんか。また近づきますと、はるか彼方に逃げていきま

す。不思議な現象をまのあたりに見た僧は「これが、里人の言う逃げ水か」と、さっそく歌にするべく、ふところより筆と墨をとりにだしました。そのとき墨をすこし草むらの中へこぼしました。ところがこの墨がとなりの川越の新河岸川に黒く浮きあがってきたということです。このあたりは水にちなんだ伝説がたくさんあります。

R2100 この広報紙はリサイクル推進のため古紙配合率100%の再生紙を使用しています

お・茶・香・る・ま・ち



[狭山市広報] VOL.552

発行日 / 平成13年7月10日(毎月10・25日発行)

発行 / 狭山市

編集 / 狭山市企画総務部広報課

〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5

TEL 042-953-1111(内線7162)

FAX 042-954-6262 テレホンガイドさやま ☎ 0120-460-380

ホームページアドレス <http://www.city.sayama.saitama.jp/>